

問3 (10点)

数値を答える場合は、数値のみを解答欄に記入すること。単位などは不要。また、小数第N位まで、と書いてある場合は、小数第N+1位を四捨五入して答えること。

ai_mid3.csvには不動産の価格(MEDV列)と、その特徴(CRIMからLSTAT列)が記録されている。このデータについて、以下の問題に答えよ。
変数選択や標準化、マルチコ対応などは不要。また必要であれば、ai_mid3_sample.ipynbファイルを用いて良い。

1.

目的変数をMEDV, 説明変数をTAX, PTRATIO, LSTATとして重回帰を行い、自由度調整済み決定係数と、LSTATの偏回帰係数をそれぞれ小数第3位まで答えよ。

自由度調整済み決定係数

0.604

LSTATの偏回帰係数

-0.822

2.

目的変数をMEDV, 説明変数をCRIM, INDUS, RMとして重回帰を行い、得られたモデル式において、その変数が1増えて、残りの変数が変わらなかったときに、目的変数ももっとも大きく変化する説明変数と、目的変数の変化の大きさ(減る場合は負の値)を、小数第3位まで答えよ。

目的変数ももっとも大きく変化する説明変数

RM

目的変数の変化の大きさ

7.648

3.

上記2通りの重回帰モデルに対して、AICの観点からより良いモデルはどちらか、1または2の番号で答えよ。

☒ 1

☐ 2

ipynbファイルのアップロード:

ファイルを選択 選択されていません



htmlファイルのアップロード:

ファイルを選択 選択されていません

